

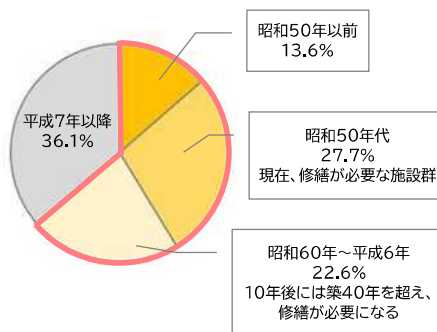
future【概要版】

今のままで大丈夫!?新潟市の公共施設

トピック 01 老朽化する施設が増加

現在使われている公共施設は、人口増加が著しかった昭和50年代(1975～1985年)に整備されたものが多く、老朽化による修繕や建て替えの時期が一斉に到来しており、今後も増加することが見込まれます。また、施設にかかる費用は建設費以外にも、施設の維持・管理や運営にかかる多くの費用があるため、すべての施設を維持することは難しくなっています。

建築年別にみた公共施設の整備状況



10年後は60%超が築40年以上



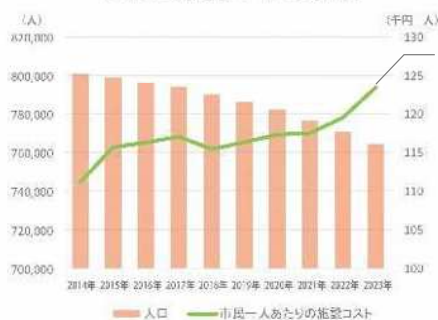
老朽化する施設が増え、管理に費用がかかる

トピック 02 人口減少と税金の使い道

少子・超高齢化などで人口が減ることで税収が減っていく見込みのなか、限られた税収で今までどおり公共施設を運営することは厳しい状況です。また、インフラの維持や社会保障などの費用の増加が見込まれる一方で、昭和50年代の人口増加の時代にあわせて整備された公共施設は、現在の人口減少の時代にあわせて見直す必要があります。

さらに、デジタル化の進展や民間事業者サービスの多様化による市民ニーズの変化により、公共施設のあり方も変わる可能性があります。

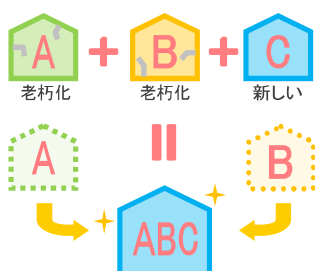
人口と施設コストの関係



公共施設を効率的に使います

さらなる人口減少を見据え、公共施設の維持管理費用などの市民負担増加を抑えつつ、公共施設の安全性・快適性を維持するためには、「保有する公共施設の延床面積を削減」しながら、「専用利用施設からさまざまな人が利用可能な施設への最適化を進めていく」必要があります。

公共施設を効率的に使う例



- ◇ さまざまな施設が1つの施設に集約されることで、1か所で複数のサービスを受けられるようになります(ワンストップ化・施設の多機能化)
- ◇ 人口減少・利用状況に見合った施設量への総量削減により、将来世代の負担軽減を進められます
- ◇ 施設を集約することで、施設の維持管理の見直しや職員数の見直しなど、施設運営を経営の視点で見直し、時代の変化に即した機能やサービスを生み出せます

1. 意見交換会の趣旨・目的

- ◆ 新潟市では、将来にわたって持続可能な市民サービスと財政運営を両立させるため、中学校区ごとに地域特性に応じた「地域別実行計画」の策定を通して公共施設の再編を進めています。
- ◆ 本意見交換会は、行政が小針地域の施設課題や実行計画案を一定程度示しながら、地域や施設利用者の代表の皆様と課題認識を共有し、ご意見を直接伺い、最適な公共施設のあり方を共に考える場です。
- ◆ 意見交換会の資料やいただいたご意見はHPや施設に公表し、意見交換会の参加者以外の地域や施設利用者皆様からもご意見も受け付け、策定する実行計画に反映させていただきます。

2. 計画の策定プロセスとスケジュール

課題共有と方向性の議論（終了）

- 【第1回意見交換会】（8月21日）
- ・行政からの提示：公共施設を取り巻く背景、現状の課題、再編に向けた計画素案の提示
 - ・意見交換テーマ：現状認識の共有、各施設に対する地域ニーズや課題の抽出

- ▼事務局作業・フィードバック
- ・第1回意見交換会での意見集約
 - ・議事概要、資料等の市ホームページへの掲出と公開
 - ・ご意見を踏まえた計画案の作成

計画具体案の確認・ブラッシュアップ

- 【第2回意見交換会】（10月7日）
（17:00～西新潟市民会館2F大会議室）
- ・行政からの提示：第1回意見交換会での意見・質問への対応、意見聴取の状況共有、計画案の提示
 - ・意見交換テーマ：計画案に対するご意見の聴取、懸念点の共有と検討

- ▼事務局作業・フィードバック
- ・第2回意見交換会での意見集約
 - ・議事概要、資料等の市ホームページへの掲出と公開
 - ・成案前段階となる計画最終案へのブラッシュアップ

最終合意形成と成案化

- 【第3回意見交換会】（12月3日）
- ・行政からの提示：これまでの意見等を踏まえた「計画最終案」の提示
 - ・計画最終案を踏まえた取組の確認
 - ・意見交換テーマ：計画最終案の確認、計画推進にあたっての取組に係る意見交換

- ▼最終調整
- ・第3回意見交換会での意見最終調整
 - ・議事概要、資料等の市ホームページへの掲出と公開
 - ・計画最終案の公表、計画推進プロセスの提示